

プレスリリース

平成31年4月12日
公益社団法人
国土緑化推進機構

第29回「みどりの文化賞」受賞者の決定について

公益社団法人国土緑化推進機構は、第29回「みどりの文化賞」受賞者を以下のとおり決定いたしました。

「みどりの文化賞」の表彰は、来る令和元年5月11日（土）、イイノホールで開催する第29回森と花の祭典「みどりの感謝祭」式典において行います。

「みどりの文化賞」受賞者には、

- ア みどりの感謝祭名誉総裁（皇族殿下）の表彰状
- イ 公益社団法人国土緑化推進機構会長の賞牌・副賞が授与されます。

このひら ゆうきち

受賞者 木平勇吉氏
(東京農工大学名誉教授)

問合わせ先： 公益社団法人国土緑化推進機構
担当： 中井 電話3262-8457

第 29 回みどりの文化賞



森林科学の未来を拓く

受賞者

このひらゆうきち

木平勇吉氏 (82 歳)

(東京農工大学名誉教授)

- 1 木平勇吉氏は、昭和 11 年に京都府に生まれ、昭和 35 年に京都大学農学部を卒業して、名古屋大学で博士号を取得した。信州大学、東京農工大学、日本大学などで教鞭をとる傍ら、日本林学会会長、林政審議会会長などの要職を歴任した。また平成 23 年から 4 年間、みどりの学術賞選考委員も務めている。
- 2 氏の専門分野は、森林計画学などとなっているが、氏がカバーしている範囲は単なる一研究分野にとどまらず、流域管理や地域の合意形成、ニュージーランドの林業、リモートセンシングや森林GISなど多岐に及んでいる。氏の研究は、過去の研究者の業績をなぞりながら集約していくのではなく、常に新たな分野へと視点を向けており、挑戦的かつ創造的な業績を残していることは、賞賛に値するものである。
これらの業績は、オリジナリティあふれる多くの著書によって世に広められ、森林科学全般の発展にも大きく寄与してきた。
- 3 また、氏の活躍は、学術分野にとどまらず、丹沢大山自然再生委員会の委員長を務め、市民や行政関係者とともに 10 年間にわたって丹沢地域のフィールド調査を実施し、大気汚染や林業の低迷などによって植生をはじめとして自然環境が変化していることを明らかにするなど、市民活動のレベルにも及んでいる。その成果は、「丹沢の自然再生」(平成 24 年 日本林業調査会)としてまとめ上げられている。
- 4 さらに、樹木とのふれあいを通じて、森林と環境と自然科学について学ぶ契機とするプログラム「子ども樹木博士」を平成 11 年に立ち上げて運営してきたほか、「間伐・間伐材利用コンク

ル」審査委員長を務めるなど、非常に幅広い分野での活動を行ってきている。

- 5 このように幅広い領域において永年にわたってリーダーとして活躍してきた氏の業績は、非常に大きく、みどりの文化賞を受賞するにふさわしいものである。

(受賞歴)

平成 12 年 日本農学賞(読賣農学賞)
昭和 59 年 日本林業技術協会奨励賞
昭和 59 年 日本林学賞

(主な著書・共著書)

「丹沢の自然再生」(平成 24 年 日本林業調査会)
「みどりの市民参加」(平成 22 年 日本林業調査会)
「森林科学」(平成 19 年 文永堂)
「森林の機能と評価」(平成 17 年 日本林業調査会)
「森林計画学」(平成 15 年 朝倉書店)
「流域環境の保全」(平成 14 年 朝倉書店)
「森林GIS入門」(平成 10 年 日本森林技術協会)
「森林管理と合意形成」(平成 9 年 全国林業改良普及協会)
「森林環境保全マニュアル」(平成 8 年 朝倉書店)
「森林科学論」(平成 6 年 朝倉書店)